

広報

いまり

市の人口

8月1日現在

総人口 58,925 人

男 27,583 人

女 31,342 人

世帯数 14,844 世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部5円 昭和47年9月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 223



— おしゃべりもたのしい 夕げのひととき —

(教育キャンプ村で写す)

恒例行事になった小・中学生の教育キャンプは、ことしも7月23日から8月8日まで、17日間にわたって国見台運動公園一帯で行なわれました。延べ670人の児童。生徒が参加、自然の中で自分たちがつくった料理に舌づつみをうち、夜はみんなでキャンプファイヤーをかこみ、ゲームや歌をうたい、たのしい、そして規律ある集団生活を経験しました。

また、8月5日から6日には、はじめて家族キャンプも行なわれ、10組・37人の親と子が参加しました。日ごろ落着いて対話のできない親も子も、野外炊飯をいっしょにくふうしたり、話しやゲームに興じたり有意義な催しでした。

広報こよみ

12日・26日 交通事故相談日

14日 定例会議会招集(予定)

15日 敬老の日

21日 無料法律相談日

22日～10月1日 秋の交通安全運動

なぜ急ぐ事故に()なるその運転

47' 9 月

災害対策費の補正が重点

7月末に臨時市議会ひらく

第3回臨時市議会は、7月29日招集、7月豪雨被害に関する一般・特別会計補正予算や、任期満了に伴う監査委員ならびに欠員になった固定資産評価審査委員をそれぞれ改選したほか、南波多中学校の改築事業や波多津漁港修築事業の請負契約に関する議案など、市長提案8件を原案通り可決しました。そのあらまは次のとおりです。

議会開会の冒頭、竹内市長は「今回の7月豪雨による被害は、昭和42年の7.9災害にも匹敵する甚大なものであった。特に、がけくずれのため尊い犠牲となられた南波多町の故松尾ミハさんに対しては、市民とともにおくやみ申し上げたい。また災害対策のために積極的にご協力いただいた議会や消防団をはじめ、市民の皆さん、さらに給水作業にご協力いただいた自衛隊や伊万里青年会議所の皆さんに心からお礼を申し上げます」とあいさつしました。

今回の集中豪雨は、死者1人・軽傷2人・住家の被害19戸・床上浸水208戸・床下浸水1,240戸に達したほか、避難した世帯81戸・給水世帯は1,400戸にも及びました。

また、農林関係被害は4億8,255万円・公共土木施設被害2億9,394万円、あわせて7億7,649万円という、いまま少で災害救助法が適用されるような大きな被害を蒙りました

●一般会計予算に1,212万円を追加しました。そのため、予算総額は45億1,828万円になりました。

こんどの補正は、7月豪雨災害のため、緊急に補正を必要とする災害対策費や、災害復旧事業の査定・補助事業の採択までに要する、おもに事務的経費を計上したものです。

補正した費目別のあらまは次のとおりです。

▶**農林水産業費**は、林地崩壊防止事業の設計事務に必要な経費14万円を追加しました。

▶**消防費**に970万円追加しました。これはおもに、災害対策本部設置に伴う職員の時間外勤務手当や建設課土地改良課へ職員を応援させたための臨時雇賃金など人件費177万円と浸水家屋のごみ・屎処理に要した145万円・母子寮や城山公園の地すべりなどの応急工事費341万円・消毒用噴霧器・給水タンクなど購入費80万円のほか、防疫・給水・被災者の炊き出しに要した経費などを計上しています。

▶**災害復旧費**は457万円の追加です。広範囲にわたる農林災害の復旧事務をできるだけ早く進めるため、応援をうけた県や土地改良事業団職員に

対する謝礼や臨時雇費59万円と、土地改良事業団に対する設計委託料の375万円がおもなものです。

▶**諸支出金**には、水道事業に対する補助金として183万円追加しました。伊万里川拡幅工事のため、延命橋の仮橋に付設していた送水管が流失したため、公園橋にう回して仮設しました。その応急配管工事費365万円の2分の1額を補助することにしたものです。なお、残りの2分の1額は国庫補助金を見込んでいます。

しかし、本年度予算は、当初から積極的な大型予算を編成しておりしかも、国庫補助金や交付金などの見通しが最も困難な時期であるため財政調整基金から市庁舎建設の財源に当てることにしている2億円の残額1,100万円を財源にしたほか、不足の412万円は予備費を当てています

●水道事業特別会計予算にも365万円を追加しました。

7月豪雨で流失した送水管の復旧工事費を計上したものです。この財源には、国庫補助金と一般会計予算からの補助金を2分の1額ずつ計上しました。そのため、資本的収支は収入を6億4,945万円、支出を6億7,286万円に増額しました。

監査委員に

副島進氏を再選

●7月31日で任期満了することになっていて市監査委員には、現監査委員の副島進氏（新天町・59歳）が再選されました。

●また、市固定資産評価審査委員

では喜ばない」というのである。
 「いつも、少し疑ってみる」ということは、世の中の進歩にはなくてはならないような気がする。
 「いつも」ということの中には、常に現状に満足せず、事態をたえず反省する姿がある。
 「少し」というところは、なにがなんでも、というガムシヤラはなく、現実の流れの中で改革をしてゆく地道の努力がうかがわれる。
 そして「疑い」は、ことわざにもあるとおり、発明の母であり、しかも、そこには個性の独立が感じられて、民主主義の原理にも叶う。ただ、その疑いは物事をこわすためではなく、新しい建設のためのものではなくてはならない。
 こういう「いつも、少し疑ってみる」ということが人びとの心の奥にしみついた時、その社会はたえず発展に向って進んで行くにちがいない。
 藍より青くなるにも、この「いつも、少し疑ってみる」という努力が必要なのはなかるうか。

会委員であった永尾三代司氏(山代町東分)が農業委員に当選、兼職することができなくなったため補欠委員の選任が行なわれ金子光良氏(山代町久原・61歳)が選ばれました。

金子氏は、市市民課長や税務課長を歴任、退職後は久原1区区長として活躍中です。

南波多中学校を改築

●南波多中学校は、老朽がひどく危険になったため改築することになりました。

鉄筋コンクリート2階建ての、普通教室5室・管理室5室などで、総工費4,027万円をかけて来年2月までに建設します。

●本年度に計画していた波多津漁港の物揚場の基礎工(84メートル)の工事も始めます。総工費4,550万で、ことし10月に完成する予定です。波多津漁港は、すでに昭和44年度から5か年事業で1億5,000万円をかけて着々と整備を進めています。これまでも、物揚場のかさ上げ130メートル・新設123メートルのほか、道路123メートル(幅6メー

トル)や港内のしゅんせつも終わっています。なおこんごも、引き続き突堤や防波堤などの建設を進めることにしています。

●2か年事業のしかも9,590万円の巨費を投入して

建設した大川簡易水道は、すでに完成し、7月から立川・駒鳴・大川野山口の4地区630戸・2,400人に給水をはじめています。



▽改築する南波多中学校△

しかし、7月の集中豪雨によって取水場の護岸がこわれ、その復旧におよそ300万円を要するため事業費をその分だけ増額しました。

7月から630戸に給水 大川町の簡易水道が完成

大川町の立川に、昨年10月から建設を急いでいた大川簡易水道が完成8月11日に落成式が行なわれました。立川炭坑の閉山に伴い、閉山炭坑水道事業と一般簡易水道事業の2つの事業を併用し、2か年事業で建設したものです。

この水道は1日500トン・3,000人に給水できる能力をもっています

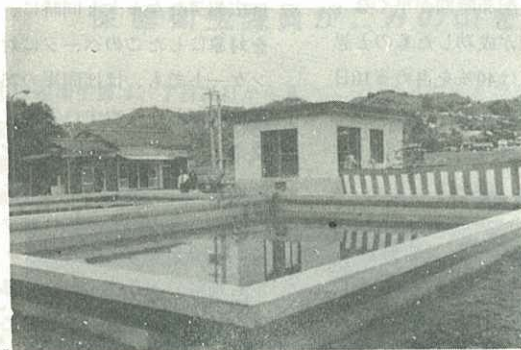
すでに7月なかばから立川・駒鳴・大川野山口の4地区のおよそ630戸に給水しています。事業費の9,590万

円は、約2分の1を国民年金特別融資金、残りは国庫補助金や市費などでまかっています。

水源の松浦川から浄水場まで920メートルの導水管で結び、4地区の配水管延長は約1万5,000メートルあります。また、万一の火災に備え49か所に消火栓も備えています。

大川簡易水道の完成で、市営の簡易水道は、波多津・松浦・楠久・浦の崎・滝川内の6か所・1万7,000人になりました。上水道の人口2万6,000人を含め、約3万7,000人が水道の恩恵をうけていることになりました。

なお、このほかに民営の水道が8か所・4,700人あります。これを含めると70%ていどの普及率になります。



▽完成した大川簡易水道△

NHKの総合テレビから放映している連続テレビ小説「藍より青く」が、高い視聴率を示しているようである。全体の感想は、ストーリーがまだなかばなので後日にゆずることとしてこの劇中で終戦を迎えたころ、こういう場面があった。東京から疎開してきた大学教授の鮎川が、戦時中は戦争にいろいろの批判をしていたのに、終戦になって、さほどの喜びをあらわさない。主人公の真紀が、そのことを不思議に思って鮎川に尋ねると、鮎川が答えるには「自分は、いつも本当のことは何かということを考えている。そこで現実をいつも少し疑ってみる。終戦の今のすがたが本当であるかどうかを考える、手ばなし



高まる市政への関心

広報アンケートの結果(上)

毎年5月に実施している「広報アンケート」は、ことしは小学校の3年生と6年生の父兄約2,000人を対象に行ないました。1,516人のかたから回答があり、76.6%の回答率でした。

調査は、広報の配布状況や記事の内容・農協有放・環境衛生・暮らしむきなど、32項目にわたって行ないました。調査結果のあらましを今月号からお知らせします。

まだおそい広報配布

40%は10日すぎ

まず「広報いまり」の配布状況について調査しました。その結果、回答した1,516人のうち、毎月届くと答えたのは1,375人(90.6%)とときどき届く95人(6.3%)全然配ってこないと答えた人がなんと15人もありました。未回答は31人(2%)でした。

広報は、全世帯配布をたてまえてしています。しかし、このように一部の人に届いていないという事実があるとすれば、当然予防接種など直接支障をきたしていると思います。担当者はもちろん、配布関係者もこんごなおいっそうのご協力をお願いします。

人事異動

高令職員の勇退に伴い、後任の配置と欠員補充のため、8月1日付で次のとおり一部人事異動を行ないました。

▷市民会館館長＝前山俊夫(総務課長)▷水産係長事務取扱兼務＝野中治邦(農林水産課長)▷総務課付＝大浦大助(農業委員会事務局長)▷同一堀田京(大川公民館長)▷農業委員会事務局長併任＝飯田文次(農林水産課長補佐)▷大川公民館長併任大川出張所長＝松岡五夫(市民会館館長)▷市民病院＝川村淳一(新規採用)

しなければなりません。

配布の時期は、5日以内に届く世帯が13.4%、10日以内が35.8%と昨年より好転しています。しかし、いぜん10日すぎに届く世帯がおよそ40%もありました。さらに努力が必要です。

広報はせめて5日以内には家庭に届けたい。これはわたしたち担当者の悲願です。このことから従来郵送していた伊万里地区(遠く地を除く)と、各出張所への配達は、昨年10月から民間に委託しました。その結果、早いときは前月末にも広報が駐在員宅に届けられるようになりました。全体的に配布時期が早くなったのもこの方法が成功したものだと思えます。こんごは40%を占める10日すぎの配布世帯の解消に全力をあげなければなりません。

毎月読むのは60%

「こどものページ」も好評

広報を毎月読む人は59%でした。昨年(53.9%)に比べ約5%もふえました。

ところどころや、ときどき読む人も昨年の41.2%に比べ37%とおよそ4%も低下、毎月読む人がふえたことを証明しています。

しかし、読まない人が14人・全然こないで読めない人が12人もありました。

ときどき読む人や、全然読まない

人など574人についてその理由を調べました。結果は、忙がしい268人(46.6%)、興味がない35人(16%)むずかしい14人(2.6%)回答しなかった人200人(34.8%)でした。

この結果からみると読む意欲はあっても読む暇がない。いわゆる「ゆとり」がない人が圧倒的に多くなっています。一因は急速な生活様式の向上につれ、がむしゅらに働く人がふえたためでしょう。

こんご掲載をのぞむ記事は、やはり市民に直接関係の深い市政の動き議会記事・都市計画・消費者通信のほか、声のひろばやこどものページなどに希望が多く出されています。「せいら」もいぜん好評です。

「こどものページ」は、市政の動きなどを子どもに知らせ、子ども時代から市民意識を深める目的で、昨年4月から「広報いまり」の一頁に企画掲載しています。

ご父兄のうけとめかたは、わかりやすい26.8%、まあまあと答えた人が43.5%でした。むずかしいと答えた人は2.6%で、およそ70%の父兄は子どもも理解して読めると判断していただいたようです。

広報アンケートと同時に、子どもを対象にしたこのページに対するアンケートでも、ほぼ同率の75%ていどの子がわかりやすいと答えており文章についてはいまのていでも理解できると判断してもよいようです。

「こどものページ」に対する意見は、内容をもっとやさしく・低学年でも理解できる記事にしてほしいなどの意見や、子どもがよろこんで読む、とってもわかりやすいなど、意はまちまちです。また、こどものページは必要ないといった批判的なもの、おとなも勉強になる、つづけてほしいという希望もあっています。

こんごは、これらアンケートなどの結果を参考に、一人でも多くの子どもに親しまれるページに育てなければと反省しています。

正直な方も売りさん

立花町 藤川八重子

八月八日のことです。来客におもてなしをと思いつくは千円でいどしき持ち歩かないのに、その日に限って財布に七千円ほど入れて朝市に出かけました。

市場についていたときは、汗をかいたので、腕時計もはずしてその大きな財布にしまいました。

まず、車えびと白もも五個ほどを買い次にぶどうやさんの前に立ちました。

お金を出そうと思って、買物かごをあさりしましたが財布が見当たりません。あわてて全部取り出して調べ

ましたがとうとう財布は見つからず、買いのなかばでがっかりして帰宅しました。

客にはなんとかおもてなしをし、お帰りのときはじめて事件のことを話しました。しかし、そのお客がおっしゃるには「交通事故にあつて金がいっぱいと思えば



いい、時計も沖繩みやげといつても、もらつてから八年以上も使つたのなら十分あなたに尽くしている。もう年が終つたと思ひなさい。何事もあきらめが肝心だ。でも警察には届けたいほうがいい」とおっしゃいました。

翌日は、なくした時計のかわりに山田時計店で新しい時計を求めました。事情を聞いたご夫妻はわがことのように同情し、利益の全部を値引きしていただきました。人の心のあたたかさよふれ感謝の念でいっぱいでした。

十日は雨もあがり、また朝市へ出かけました。ぶどう売りのおばさんに売り込まれ、おとといここで財布をなくして困っていると話している、向う側にいたのも売りのおばさんが「その財布はこれですか」と差し出しました。ももを入れたいザルにはいつていたとかで、警察は家と反対方向で

に打ち寄せられたものです。木須町の海岸では、万一の火災に備えて消防車も待機させ、村岡保健衛生課長ほか5人の課員が、廃油や火炎放射機4台を使い、全身汗びしょりで半日もかかって完全に焼き払いました。

海岸に打ち上げられたごみの中には、スイカのたべかすやビニール袋にはいった残飯から、ポリ容器・古タイヤなどがその大半を占め、無神経な市民の不法投棄に課員は怒りの炎をあげていました。

一部の市民が、このようにごみを河川や海・あき地などに捨てると多くの善良な市民のみなさんが迷惑します。ごみはきめられたごみ袋に入れて処理するように心がけてほしいものです。また、こうしたことは家庭の台所をあずかる主婦のちよとした心がけで守れることではないでしょうか。ごみ焼却場に運び込まれるごみの中には、いまだに陶器の破片や鉄くずにプラスチック容器などがたくさんはいつています。このようなものは、毎週月曜日に集める不燃物用のピンクの袋に入れて出すようにしてください。

市民ひとりひとりが自覚と責任さえあれば、このような無駄な焼却作業も必要ではなくなるわけです。

まだやまぬ不法投棄

保健衛生課員がごみの山を焼却

市保健衛生課は、7月31日から8月2日にかけて、山代町の追崎海岸や東山代町長浜の六本松海岸・木須海岸など、ごみがたくさん堆積して

いる4か所を焼却しました。このごみは、伊万里川や有田川などの上流から流れつたもので、潮の満ち干によって、自然に船だまり



▽ごみの山を焼き払う市職員△

都市計画区域を大幅変更

街路網計画も一部修正

伊万里市は、市制を施行した昭和29年4月1日から、市の全域が都市計画区域に指定されていました。

しかし、現在の都市形態やこんごの都市構造の変化などを見込み、都市計画法に定める基準に照らして再検討を加え、別図のように8月11日から都市計画区域を大幅に変更することになりました。

なお、都市計画区域は、都市として総合的に整備・開発ならびに保全する必要のある区域を県知事が指定することになっています。

都市計画区域に指定された区域は

次のとおりです。

●都市計画区域

伊万里町・松島町・脇田町・木須町・瀬戸町・大坪町・立花町・新天町・蓮池町・二里町・山代町の全域と大川内町の丙地番・黒川町（福田大黒川・塩屋・小黒川・黒塩・椿原）波多津町（内野・煤屋・馬蜂潟・辻畑津のうち字新田・字八斗田・字前田・字中島）、東山代町の滝川内と川内野を除く全域。

なお、建築基準法に基づく建築確認申請を要する区域も変更され、こんど都市計画区域に指定されたところ

ろはすべてこの申請が必要になります。手続き先は伊万里土木事務所です。

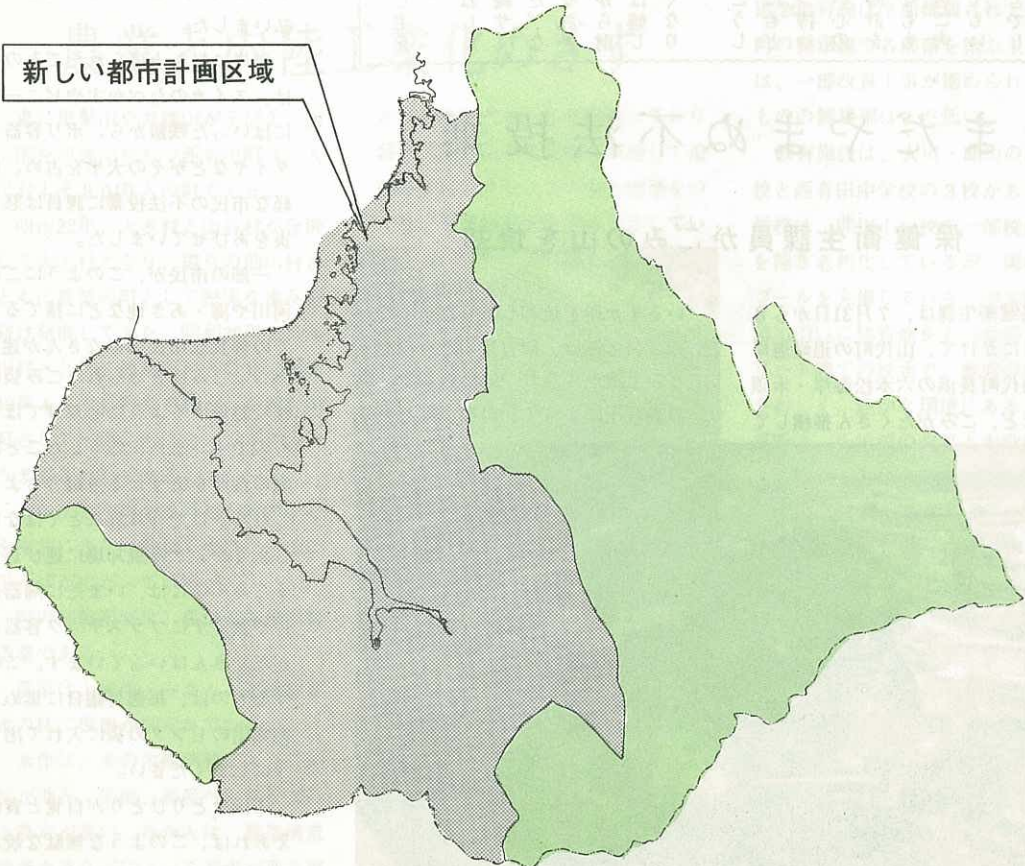
都市計画道路も変更

都市計画道路（街路）も路線の延長や修正など、一部計画を変更しました。

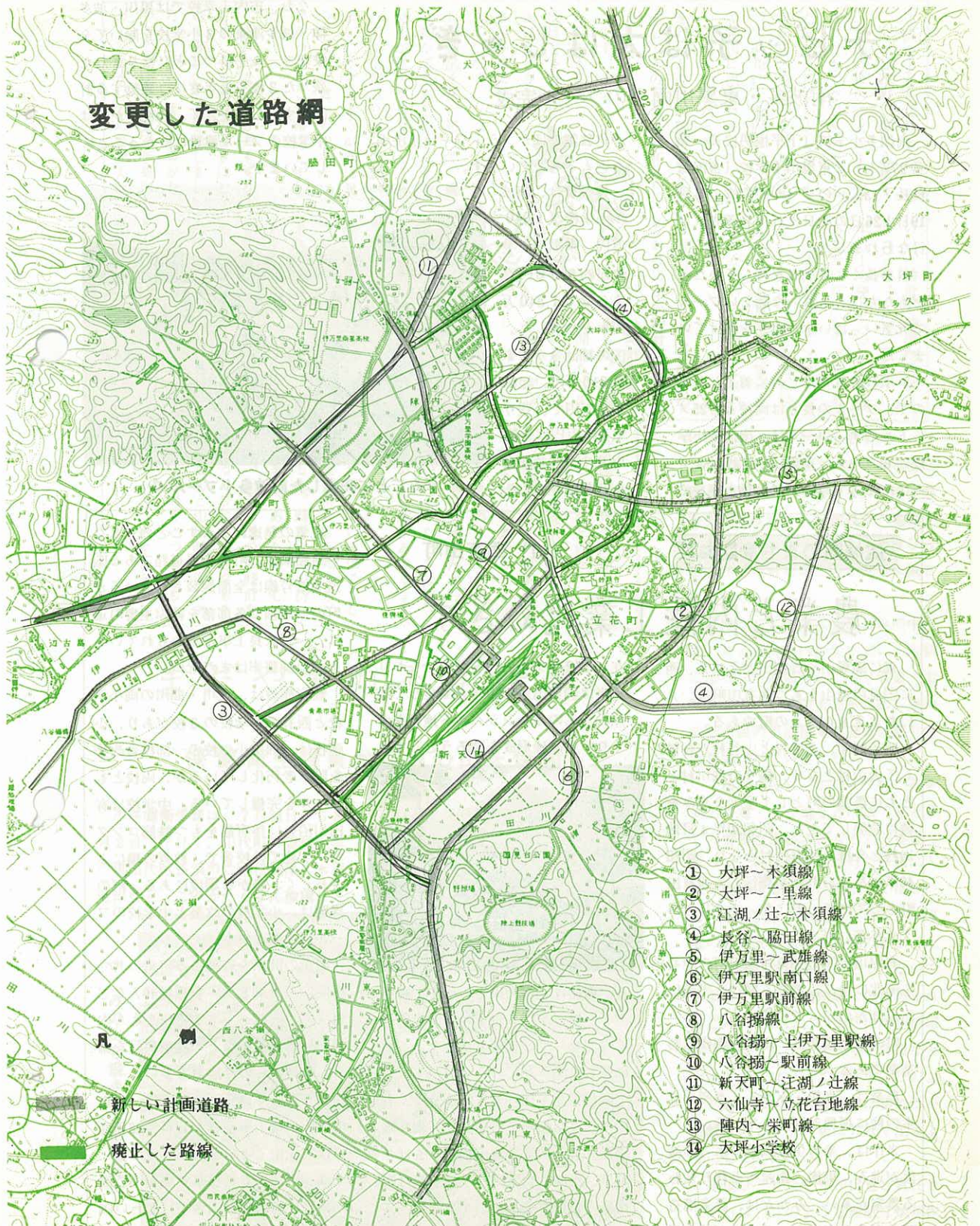
いまの街路計画は、従来から決定していたものを、昭和43年に一部変更したものです。しかし、名村造船所の進出決定や広域市町村圏の設定都市計画による土地利用区分、いわゆる用途地域の設定、公害防止面など諸事情を勘案して変更したものです。

したがって、こんごはこの計画にしたがって進めていくこととなります。

新しい都市計画区域



変更した道路網



- ① 大坪～木須線
- ② 大坪～二里線
- ③ 江湖ノ辻～木須線
- ④ 長谷～脇田線
- ⑤ 伊万里～武雄線
- ⑥ 伊万里駅南口線
- ⑦ 伊万里駅前線
- ⑧ 八谷搦線
- ⑨ 八谷搦～上伊万里駅線
- ⑩ 八谷搦～駅前線
- ⑪ 新天町～江湖ノ辻線
- ⑫ 六仙寺～立花台地線
- ⑬ 陣内～栄町線
- ⑭ 大坪小学校

新しい計画道路

廃止した路線

チビっ子は大はしゃぎ

南波多・東黒川両小のプール完成

南波多小学校（下平恒男校長・児童277人）と東黒川小学校（吉田新校長・73人）のプールが完成、8月19日と26日の両日それぞれ落成式が行なわれました。

首を長くして完成を待っていた子どもたちは、きれいな新しいプールで元気いっぱい水しぶきをあげていました。

いずれも6月はじめに着工したもので、プールの長さは両校とも25メートルです。コースは、南波多小学校が6コース、東黒川小学校は4コースになっています。給排水施設や

浄化装置のほか、シャワー・足洗場などもそろっています。

建設費は、南波多小学校が1,040万円、東黒川小学校が約800万円であわせて1,840万円かかりました。国の補助金がおよそ210万円、起債500万円で、残り1,130万円は一般財源や地元負担金などを当てました



▷みごとに完成した南波多小プール◁

なお、市内小学校では黒川・波多津・波多津東の3小学校を除いて全校がプールを持つことになりました。残った3校も来年度には建設する計画です。したがって、49年度からは中学校のプール建設にかかることにしています。

広域圏のまちを訪ねて

(11) 西有田町

農業と内陸工業化めざす

東に黒髪山や青螺山がそびえ、西に国見の連山をもつ西有田町は、人口およそ8,040人の町である。

明治22年、大木村と山谷村が合併して大山村となり、隣の曲川村とともに農業の町として堅実な歩みを続け発展してきた。昭和30年4月曲川村と合併、西有田村となり、昭和40年4月1日町制を施行して西有田町として出発、町になって7年というまだ若い町である。

有田川と国道202号線が町の中心を南北に走り、細長く開けた平地に田んぼが広がっている。

町の基幹産業は、農業と陶磁器製造業である。

農業は、米作・みかん・畜産を3本の柱に振興が図られている。

米作は、米の生産調整によって減反が進み、果樹、畜産へと移り変わる農家が多い。みかんは、農業構造改善事業などによって造成が進み現

在、252ヘクタールを栽培しており将来は国見山系の中腹を開発して温州みかんのオレンジベルト地帯をつくり、主産地形成を図ろうとしている。



る。畜産は、役肉用牛、乳牛・豚などで、標高777メートルの国見山ろくを開発して、大畜産団地をつくる構想も計画されている。

陶磁器を主体とする製造業は、有田から深川製磁・岩尾磁器・親和陶磁器・有田陶業・有田物産の5社が進出、年間約11億円の生産をあげ陶磁器の製造を主とした企業誘致が盛んに進められている。

産業の発達に欠かすことのできない道路網は、町の主要道路である国道202号線は全面舗装されているが町の循環線や各部落を結ぶ主要町道は、一部改良工事が進められているものの舗装率はまだ低い。

教育施設は、大川・曲川の両小学校と西有田中学校の3校があり、小学校は、曲川小学校の一部校舎改築を除き老朽化しているが、両校ともプールを完備している。中学校は有田川沿いに体育館をもつ鉄筋コンクリート建ての校舎で、教育の場にふさわしく、静かな環境にある。町の課題は、小学校の改築と中学校のプール建設だという。

町民の健康を管理する町営の共立病院は、医師8人・看護婦40人など51人で、一般ベット168床をもち内科・外科・歯科などの診療科目を備え、町外からの受診者も多い。

県が進めている竜門ダムは、現在堤防の基礎工事が行なわれ、48年度には完成するという。

観光資源も有名な県立黒髪山公園があり、若者の登山客でにぎわい国民宿舎の建設も考えられている。

秋の全国交通安全運動

子どもの事故防止を重点

9月22日～10月1日

秋の全国交通安全運動が、9月22日から10日間行なわれます。関係機関・団体では、すでにその準備を進めています。

こんどの運動は、歩行者事故、とくに子どもと老人の事故を防ぐために次の施策を中心に、各町ごとに徹底して実施されます。

＝スクールゾーンの定着化＝

すでに、春の全国交通安全運動で設定した小学校・保育園・幼稚園を中心とするスクールゾーンの定着化を図ります。

スクールゾーン内では次のことを重点に行なわれます。

- ▶ 通学・通園路など、道路の安全施設の整備や交通規制など、交通環境の整備
- ▶ 校庭開放など、子どもの遊び場の確保
- ▶ 違法駐車・商品看板など、道路の不正使用の排除
- ▶ 標識・看板の掲示、街頭指導による住民への周知徹底
- また、スクールゾーン内では子どもの安全を守るために、運転者は次のことを励行してください。
- ▶ 安全速度を厳守する
- ▶ 子どものそばでは一時停止・徐行を励行する
- ▶ 横断歩道では一時停止して子どもを優先通行させる
- ▶ 子どもがとび出しや信号無視をすることを予測して安全運転をする
- ▶ 路上駐車をしない

＝交通安全指導の強化＝

- ▶ 子どもと保護者に対しては、正しい歩行・自転車の正しい乗り方など、実地に即した指導を行ない

くに幼児低学年については母親ぐるみの指導を行ないます。

- ▶ 老人に対しては正しい歩行と自転車

の利用など老人クラブ活動・公民館活動の機会をとらえて指導を行ないます。

- ▶ 運転者に対しては、スクールゾーン内での交通安全など、講習会を利用して指導を行ないます。



＝その他の事故防止対策＝

- ▶ 飲酒運転の絶滅
- ▶ 踏切道の安全確保
- ▶ 車両の点検整備と安全運転管理の確保

この運動が成功するかどうかは地

区の住民の皆さんが子どもの安全を絶対優先させるという考えに立って自主的に交通安全運動に参加されることにかかっています。交通事故をおこさないよう、あわないよう住民ひとりひとりが注意しましょう。

「はかり」の検査をします

次の日程で、計量器を検査します
取り引きや証明に使用する計量器は検査を受けてください。ただし、たみ・ガラス・大工・石工・和洋服仕立て・建具などに使用する長さばかりや郵便物・農産物などのためしばかり・公衆浴場の体重計などは検査を受ける必要はありません。しかし、希望者は受験できます。

▷料金 器種によってちがいます。

▷日時と場所

- 9月18日 市農協大川内支所
- 19日 松浦公民館
- 20日 大川出張所
- 21日 南波多出張所
- 22日 波多津出張所
- 25日 黒川出張所
- 26日 二里出張所

以上いずれも10時～14時30分

9月27日 10時～12時

東山代出張所

9月27日 13時～15時

楠久公民館

消費者通信

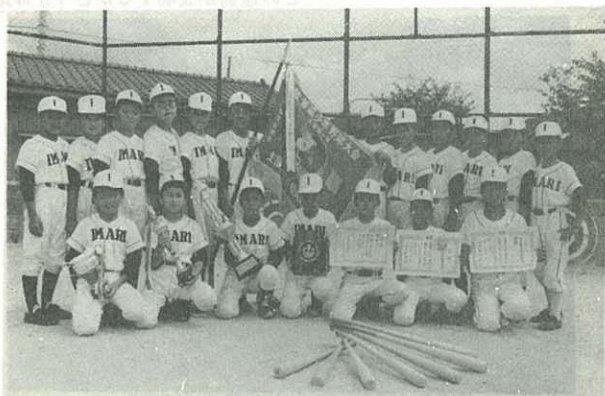
商品の過剰包装

最近、問題になっている商品の過剰包装について、地婦連が全国20都道府県で調査した結果、回答者の60%が処理に困る商品としてプラスチック容器と贈答品の外箱をあげています。ムダな包装が目立つのは食料品で、のり、プラスチック容器入り卵りんご・みかん・魚・日用品は洗剤石けん・歯みがき・歯ぶらし・贈答品のアルコール類・のり・化学調味料・みやげ物では菓子類・ようかん漬物などが指摘されています。

消費生活苦情相談員 立石幸子

伊万里が二度目の制覇

第3回県少年野球大会ひらく



▷二度目の優勝をなしとげた伊万里愛球会

40年ぶりに復活した佐賀県少年野球大会はやくもこととして第3回大会を迎え、8月3日から7日まで佐賀市で開かれま

市の代表として出場した伊万里愛球会と山代東小少年野球チームはよく健闘、伊万里愛球会は第1回大会について二度目の優勝をはたしました。山代東小チームも善戦しましたが、3回戦で強豪武雄チームと対戦し9対8の1点差につめながらおしくも敗れました。健闘した両チームに拍手を送りましょう。

なお、優勝した伊万里愛球会の対戦成績は次のとおりです。

- 1回戦 日新小 5A : 3
- 2回戦 鳥栖中央区 10 : 0 (5回コールドゲーム)
- 3回戦 嘉瀬 8A : 2
- 4回戦 江北 10 : 1
- 優勝戦 嬉野 4 : 3

伊万里市・西松浦郡共同の宿泊訓練は、本年度は小・中学校別に計画中学生は伊万里中学校、小学生は東山代小学校で、それぞれ2泊3日の日程で実施されました。

この訓練のねらいは、日ごろの学校生活では経験できない、教師と子どもが起居をともにし、ひとつひとつの好ましい習慣を、集団生活を通して身につけさせ、集団生活に適應する体験をつむことにより、社会適應能力をのぼそうとする教師の願いから行なわれているものです。

しかし、参加者は74%にとどまりました。家庭や本人の特殊事情もあったと思いますが、2学期以降の生きた教材として展開されていくだけに残念でした。来年度は全員参加ができるように、予算面でのなんらかの措置を強く望んでやみません。

わたしが参加した小学生の訓練の実態にふれてみましょう。

まず、訓練を通して最も強く感じたことは、子どもたちが日ごろ学校生活ではあまり体験していない団体競技(学校によっては、体育などは原級にもどって行っている)において、多人数でチームをつくり、の

特殊学級の

宿泊訓練を終えて



有田小学校特殊学級担任
松尾 昇

びのびと元気にゲームを楽しんでいたことでした。ふだんの学校生活では、いつも消極的であった子が、かけ声も勇ましく、生き生きとした目つきで精いっぱいプレーに打ち込んでいる姿を見て、参加させてよかったなあと、深い感動を覚えたものです。2回目は、暑い日中の盛りに二里町の八幡宮への遠足でした。しかしどの子どもも元気に、一人の落後者もなく歩き通しました。各人の体力にも相当の自信がついたことでしょう。夜は、自分の身のまわり品の整頓・衣類の着がえ・たたみかたなどの指導をうけました。

小さな2年生が、なんどもたたみ直しては「先生、見てて」といって

ほめてもらうことの嬉しさに、どこか先生であらうと、手あたりしだいにつかまえては服をたたんで見せているほほえましい光景も見られました。

日程の最終日には、2時間の学習時間をもうけて、訓練期間中の思い出を文にしたためることにしました。子どもたちは、あまりにも体験が多すぎたのか文の書き出しに苦勞しているようでした。なかには、自分の先生をつかまえて助言を乞い、やっと糸口をみつけて書き出したものの、文字を忘れ、その文字を思い出すのにやっきになっている間に、肝心の筋を忘れ、また先生に助言を乞い、さんざん苦心してやっと文章を生み出した子もいました。その子が文ができあがると「万歳、できた」とおどろきまわって喜んでいたのも胸の奥に深い印象として残っています。このように、子どもたちが自らさまさまの体験をなしとげた喜びを味わうことができたのも、伊万里市教委をはじめ、炊事当番をしていただいたご父兄、ならびに東山代小学校の諸先生のご協力のおかげと、心から感謝しています。

乳児健康診査

▷対象者 昭和46年9月1日から昭和47年8月31日までに生まれたもの。
▷日時と場所
9月20日 東山代出張所
9月26日 山代出張所
※時間 13時~14時30分

乳児検診

▷対象者 昭和46年9月1日から昭和47年8月31日までに生まれたもの。
▷日時と場所
9月11日 波多津出張所
◇ 13日 黒川出張所
◇ 14日 松浦出張所

9月21日 南波多出張所
◇ 22日 二里出張所
※時間 13時30分~14時30分

初心者狩猟講習会

初心者の狩猟講習会が、次の日程で開かれます。希望者ははやくめに申し込みください。

▷日時
9月18日 9時~17時(学科)
9月19日 9時~12時(実技)

▷場所 市民会館
▷携行品 筆記具
▷申込先
二里町川東 松尾自転車店内「伊万里市猟友会事務所」へ9月15日までに受講料(1,100円)と免許証用写真・印鑑を添えて申し込んでください。講習を受けていない場合は狩猟することができません。

市内めぐり会員募集

本年度第3回「市内施設めぐり」を次により実施します。参加希望者は市役所秘書企画課各町公民館へお申し込みください。満員になりしだい締め切ります。
▷とき 9月30日 8時40分西肥バスセンター出発(16時30分散解)
▷募集人員 100人(バス2台)

▷会費 400円(弁当代含む)
申し込みとき納めてください。
▷視察予定地 大川内山窯元→立花台地→国見台運動公園→長浜団地→竹の古場公園→楠久ごみ焼却場久原工業団地→七ッ島工業団地造成現場など。このほか、車内では市政概況を説明します。

発展する郷土を確めよう

- 次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)
社会福祉事業費へ
◆香典返しを寄付
○一番ヶ瀬国次(伊万里町元町 亡妻スエノ)
○古瀬恒子(伊万里町上中町 亡夫巖)
○山口キクノ(松浦町岩梅 亡夫一次)
○松尾雷太郎(松浦町下平 亡父儀蔵)
○藤山夏江(二里町東八谷 亡夫十郎)
○福原康洋(東山代町長浜 長女光佳子)
○古賀常助(松島町 亡妻スエヨ)
○松尾康孝(松浦町東分 亡父朝平)
○山口進(松島町 亡母マチ)
○池田龍夫(南波多町高瀬 亡妻トラ)
○東島守(陣内 亡父茂)
○峰信夫(二里町金武 亡妻澄子)
○松尾キミ(伊万里町浜町 亡夫 喜代次)
○永石健一(東山代町天神 亡妻 ミ子)

- 松尾庸次(松浦町東分 亡父 芳太郎)
○熊川政雄(南波多町水留 亡父 政兵衛)
○田中弥助(波多津町煤屋 亡妻ハルエ)
○平島勝義(木須町木須住宅 亡母イトノ)
○浦川時男(二里町金武 亡父熊右工門)
○桑原太蔵(伊万里町上土井町 亡父久吉)
○橋本今朝雄(立花町東門 造寺 亡養父池田佐市)
○前田馨(南波多町小麦原 亡父敬三)
○坂本博光(山代町楠久津 亡次女聡美)
○池ノ上篤助(伊万里町搦町 亡母キツ)
○川内常司(大川内町小石原 亡父筆一)
◆篤志寄付
○老千円 山口チサ子(東山代町天神 拾得物待期間満了につき)



ありがとう

ご返りました

(累計二九七万四二二五円)
教育振興奨励基金へ
◆香典返しを寄付
○秋吉栄子(栄町 亡夫正文)
(累計九一五万八六八〇円)
市庁舎建設基金へ
◆香典返しを寄付
○久保スガ(大川町立川 亡夫宝蔵)
(累計一八〇万八六五〇円)
篤志寄付
○参拾万円 佐世保市千尽町 株式会社県北衛生社代表取締役外間広太郎
市民会館へ
○テールクロス 二〇枚 松島町 光武医院院長光武俊和(医院新築落成を記念して)
(昭47・8・19現在)
一記事訂正
八月一日号本欄の老人福祉センターへ扇風機をご寄付いただきました木須町前山ユキさんは、市連合婦人会長前山ユキと訂正させていただきます。

ことものページ

売りあげ高は211億円 のびる市内の商店

市役所は、ことしの5月1日現在で、伊万里市内の商店にはたらいでいる人のかずや、売られている商品の種類・1年間の売りあげ高などをしらべました。

この調査は、商業統計調査といっで、日本全国の商店のじようたいを知るために、国が2年おきに市役所や役場に依頼(たのむこと)して調査しているもので、こんどは11回目の調査でした。

伊万里市の調査結果のあらまははつき次のとおりです。学習の参考にしてください。

5月1日現在、伊万里市内の商店数は1,275軒でした。従業員(店で働いている人)はぜんぶで4,650人、1年間の商品の売りあげは211

億2,640万円でした。2年前の昭和45年にしらべたときにくらべて商店数が17けん、従業員は163人、売りあげ高は38億5,299万円とそれぞれふえています。

売りあげ高は、昭和45年調査のときより22パーセントふえています。

ところが「商店」といっても、商売のしかたのちがいで、卸売店とか小売店などと呼んでいます。

みんながふだん買物をする店は小売店といいます。

卸売店は、その小売店が商品を仕入れる店のことです。したがって卸売店は、よい商品をできるだけ安くしかも、たくさん仕入れておく役目をもっています。

卸売りは、食品品の店が32けん



—夏休み終わる—
心のゆるみか

思わぬ事故に

最高、つぎが材木やセメントなどけん、2番目に多いのは洋服などを売る店で123けん、家具や建具店が37けん、3番目でした。

全体的にみると、前回調査よりも卸売店が5けんへり、小売店はぎやくに22けんふえています。

従業員も前回調査のときよりも4パーセントふえました。しかし、1人~2人の店が690けんもあります

また3人~4人の店が214けん、5人~9人が111けん、小さな商店が多く、50人以上店員がいる商店は

わずか5けんでした。したがって1商店当たりの店員数は3.6人です。町別に商店数と売りあげ高をくらべてみました。

まず、商店数では伊万里が707店でいちばん多く、山代167・二里93東山代72と、ほぼ人口に比列しているようです。

しかし、売りあげ高では、伊万里の1位は当然としても、2位は二里山代は3位です。

全体的な割合からみると、伊万里が72パーセント、二里はおよそ12パーセントを占め、山代は6パーセントでいどでした。

二里がこのように売りあげがのびたのは自動車などの売りあげがのびたためと思われま

町別にみた商品の売りあげ高

